

令和5年度 東京都がん診療連携協議会活動状況

◆第16回 東京都がん診療連携協議会 開催

開催日	令和5年6月1日開催
出席	都道府県がん診療連携拠点病院 2施設、地域がん診療連携拠点病院 26施設、地域がん診療病院 1施設、東京都がん診療連携拠点病院 9施設、東京都がん診療連携協力病院 20施設 公益財団法人日本対がん協会、公益社団法人東京都医師会、特定非営利活動法人血液患者コミュニティももの木、東京都福祉保健局、その他関係機関等
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都がん診療連携協議会設置要綱の改訂について 2) 各専門部会報告 <ol style="list-style-type: none"> ①評価・改善部会 ②緩和ケア部会 ③研修部会 ④がん登録部会 ⑤クリティカルパス部会 ⑥相談・情報部会 3) 国の第4期がん対策推進基本計画等について 東京都福祉保健局 医療政策部医療政策課 4) がん検診の要精密検査者に係る精密検査結果の報告について 東京都福祉保健局 保健政策部健康推進課 5) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の対象医療の拡大について（情報提供） 東京都福祉保健局 保健政策部疾病対策課 6) 学校におけるがん教育の外部講師派遣の協力等について 東京都教育庁 地域教育支援部義務教育課 7) 講演「新整備指針・4期計画で拠点病院等に求められる役割」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター本部 副本部長 若尾 文彦 8) 講演「災害時の業務継続の方策について」 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立広尾病院 減災対策支援センター センター長 中島 康

◆東京都がん診療連携協議会 専門部会開催

部会名	活動内容
評価・改善部会	<p>第23回 評価・改善部会 令和5年7月11日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都がん診療連携協議会評価・改善部会運営要綱の改訂について 2) BCPワーキンググループの新設について 3) Quality Indicator等の指標を用いたがん診療の質の向上への取組について <p>第24回 評価・改善部会 令和6年3月12日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 令和5年度 各専門部会PDCAサイクル活動報告 2) BCPワーキンググループ 活動報告 3) QIワーキンググループ 活動報告 4) 令和6年度 東京都がん診療連携協議会専門部会委員等推薦書 兼 変更届の提出について <p>第1回 QIワーキンググループ会議 令和5年12月13日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 整備指針に求められる医療機関における役割分担の整理・明確化（ア〜ケ）について <p>第2回 QIワーキンググループ会議 令和6年2月15日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 整備指針に求められる医療機関における役割分担の整理・明確化（ア〜ケ）について <p>第1回 BCPワーキンググループ会議 令和6年1月31日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都における自然災害時の病院の業務継続体制に対する現状課題について 2) 今後のBCPワーキンググループ活動について
緩和ケア部会	<p>第1回 緩和ケア部会 令和5年7月21日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 緩和ケア部会ワーキンググループ（仮称）の活動について 2) 緩和ケア部会メーリングリスト運用について 3) 東京都におけるがん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会開催について 4) 東京都緩和ケア連携手帳～わたしのカルテ～について 5) 神経ブロック等の専門的な治療の提供体制等について 6) 次回開催日の決定 <p>第2回 緩和ケア部会 令和6年2月16日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第11回 緩和ケア部会について 2) 東京都緩和ケア連携手帳について～わたしのカルテ～について 3) 東京都におけるがん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会開催について 4) 神経ブロック・緩和的放射線治療等の専門的な治療の提供体制等について 5) 緩和ケア部会メーリングリスト運用について

	<p>6) 東京都内の一般病棟における緩和ケアの現状把握のためのアンケート調査結果</p> <p>7) 東京都緩和ケア研修会（多職種）について</p> <p>8) 次回開催日・主要な議事の決定</p> <p>緩和ケア研修会</p> <p>1) 医師等：開催回数 75 回 修了者数 1,578 名（累計修了者数 22,723 名）</p> <p>2) 多職種：開催回数 5 回 修了者数 65 名（累計修了者数 185 名）</p>
<p>研修部会</p>	<p>第 15 回 研修部会 令和 5 年 3 月 29 日開催</p> <p>1) 2023 年度 各種研修会開催実績の報告及び 2024 年度各種研修会の方向性について</p> <p>① 2023 年度 がん医療従事者研修会 開催実績</p> <p>② 各研修小委員会報告（医師小委員会、薬剤師小委員会、看護師小委員会、診療放射線技師小委員会）</p> <p>2) PDCA サイクルの取組について</p> <p>3) 2024 年度 がん医療従事者研修会開催予定</p> <p>がん医療従事者研修会</p> <p>1) 医 師：令和 6 年 3 月 16 日 WEB 開催（92 名受講）、令和 6 年 3 月 23 日 WEB 開催（82 名受講）</p> <p>2) 薬剤師：令和 5 年 7 月 9 日 WEB 開催（765 名受講）、令和 5 年 10 月 28 日 ハイブリッド開催（401 名受講）、令和 6 年 3 月 9 日 ハイブリッド開催（363 名受講）</p> <p>3) 看護師：令和 6 年 2 月 15 日 WEB 開催（254 名受講）</p> <p>4) 診療放射線技師：令和 6 年 2 月 9 日～3 月 8 日 オンデマンド配信（264 名受講）</p> <p>5) 多職種合同研修会：未開催</p>
<p>がん登録部会</p>	<p>第 16 回 がん登録部会 令和 6 年 2 月 20 日開催</p> <p>1) 令和 5 年度 がん登録部会における PDCA サイクルについて</p> <p>2) がん登録部会実務者連絡会の活動報告について</p> <p>①令和 5 年度 がん登録部会実務者連絡会 開催状況</p> <p>②令和 5 年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催状況</p> <p>③令和 6 年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催予定</p> <p>3) 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価の実施結果について</p> <p>4) 院内がん登録 2021 年症例データ集計結果及び分析について</p> <p>5) 令和 6 年度 東京都院内がん登録アドバイザーの募集について</p> <p>6) 講演「沖縄県がん診療連携協議会による院内がん登録データを利用した患者さんの役に立つと思われる取り組み」 琉球大学病院がんセンター がんセンター長 増田 昌人</p> <p>第 23 回 実務者連絡会 令和 5 年 6 月 23 日開催</p> <p>1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 令和 5 年度 第 1 回がん登録部会報告</p> <p>2) 令和 5 年度 がん登録部会における PDCA サイクルについて</p> <p>3) 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価の実施について</p> <p>4) 令和 5 年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会について</p> <p>5) 院内がん登録 2021 年症例データ集計結果及び分析について</p> <p>6) 施設におけるがん登録業務紹介 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立墨東病院、独立行政法人国立病院機構災害医療センター、学校法人日本医科大学付属病院</p> <p>7) 講演「院内がん登録を用いた分析」 国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録分析室 石井 太祐</p> <p>第 24 回 実務者連絡会 令和 6 年 1 月 23 日開催</p> <p>1) 令和 5 年度 がん登録部会における PDCA サイクルについて</p> <p>2) がん登録推進法第 20 条に基づく生存確認情報の提供等について 東京都がん登録室 業務統括者</p> <p>3) 指針に求められる「院内がん登録実施に係る機能」の自施設評価について</p> <p>4) 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会について</p> <p>①令和 5 年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催報告</p> <p>②令和 6 年度 東京都院内がん登録実務者勉強会及び研修会 開催予定</p> <p>5) 東京都院内がん登録アドバイザー募集について</p> <p>6) 施設におけるがん登録業務紹介 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院、日本大学医学部附属板橋病院</p> <p>7) 講演「院内がん登録データの利活用の事例と利用手続きについて」 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 がん登録室 中林 愛恵</p> <p>東京都院内がん登録実務者勉強会 令和 5 年 9 月 12 日開催（25 名受講） 内容「①解剖学全般、胃がん・大腸がん・肝がんの病期分類の演習問題、②乳がん・肺がんの演習問題の解説」 東京都がん登録アドバイザー</p> <p>東京都院内がん登録実務者研修会（A コース） 令和 5 年 10 月 26 日開催（83 名受講） テーマ「①病理診断書（講義、クイズ解答）、②TNM 概論（講義、クイズ解答）、③TNM の臓器別（講義）」 独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 病理科 医長/臨床研究センター がん予防・疫学研究部 部長</p>

	<p>寺本 典弘</p> <p>東京都院内がん登録実務者研修会 (B コース) 令和5年11月8日開催 (85名受講) テーマ「①2020年以降の標準登録様式の変更点(講義)、②肝がん病期分類(講義、演習問題解説)」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子</p> <p>東京都院内がん登録実務者研修会 (C コース) 令和5年12月8日開催 (98名受講) テーマ「頭頸部がん病期分類(口唇および口腔、咽頭、喉頭)(講義、演習問題解説)」 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子</p>
<p>クリティカルパス部会</p>	<p>第7回 クリティカルパス部会 令和6年2月27日開催</p> <p>1) 令和5年度 クリティカルパス部会及び連携促進委員会におけるPDCAサイクルについて 2) 地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」及び「東京都緩和ケア連携手帳」の発行状況調査について ①「東京都医療連携手帳」令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)の発行状況 ②「東京都医療連携手帳」令和5年度上半期(令和5年4月～令和5年9月)の発行状況 ③「東京都緩和ケア連携手帳」令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)の発行状況 ④ 連携手帳の経年発行件数比較(平成30年年度～令和4年度)</p> <p>第21回 連携促進委員会 令和5年11月21日開催</p> <p>1) 令和5年度 クリティカルパス部会及び連携促進委員会におけるPDCAサイクルについて 2) 地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」及び「東京都緩和ケア連携手帳」の発行状況調査について ①「東京都医療連携手帳」令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)の発行状況 ②「東京都医療連携手帳」令和5年度上半期(令和5年4月～令和5年9月)の発行状況 ③「東京都緩和ケア連携手帳」令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)の発行状況 ④ 連携手帳の経年発行件数比較(平成30年年度～令和4年度)</p>
<p>相談・情報部会</p>	<p>第13回 相談・情報部会 令和6年3月7日開催</p> <p>1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第20・21回情報提供・相談支援部会報告 2) 令和5年度 相談・情報部会におけるPDCAサイクルについて 3) 令和5年度 相談・情報部会担当者連絡会 活動報告 4) 令和6年度 相談・情報部会 担当者連絡会チーム委員の募集について 5) 「東京都がん相談支援センター業務マニュアル」の改訂について 6) 令和5年度 「がん相談支援センターに求められる機能の自己評価」実施報告 7) 整備指針に求められる「がん相談支援センターの業務内容について、相談者からのフィードバックを得る体制を整備すること」について ①がん相談支援センターの業務内容に関する相談者からのフィードバックに係る調査について ②講演「がん相談支援センターにおける相談者からのフィードバックを得る体制について」 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 教授/健康管理・政策学領域長 高山 智子 8) 令和6年度 相談・情報メーリングリスト《東京みつばち》への登録について</p> <p>第36回 担当者連絡会 令和5年6月15日開催</p> <p>1) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第20回情報提供・相談支援部会報告 2) 令和5年度 相談・情報部会におけるPDCAサイクルについて 3) 令和5年度 がん相談支援センター自己評価票の実施について 4) 令和5年度 相談・情報部会担当者連絡会 各チーム等活動について(相談支援検討(自己評価票・マニュアル・図書館連携・患者サロン推進サポート・AYA世代ネットワーク構築)チーム、QA研修企画・運営チーム、東京都がん相談員研修企画・運営チーム、地域相談支援フォーラム実行委員会) 5) グループワーク「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」に対する各施設の取組と課題について ・テーマ ①ピアサポートの活用、②患者サロンの運営、③必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制の整備 ・グループワークのテーマに関する事前アンケート集計結果</p> <p>第37回 担当者連絡会 令和5年11月17日開催</p> <p>1) 令和5年度 相談・情報部会におけるPDCAサイクルについて 2) 令和5年度 がん相談支援センターに求められる機能の自己評価について 3) 整備指針に求められる「がん相談支援センターの業務内容について、相談者からのフィードバックを得る体制を整備すること」について ①がん相談支援センターの業務内容に関する相談者からのフィードバックに係る調査について ②講演「がん相談支援センターにおける相談者からのフィードバックを得る体制について」 公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 教授/健康管理・政策学領域長 高山 智子 ③グループワーク 4) がん患者及びその家族のためのがん相談支援のあり方について - 患者サロンの開催・ピアサポーターの活用・患者団体等との連携 - ①患者サロン推進サポートチームの取組活動 ②講演「がんと共に歩む人々と共に ～ マギーズ東京での試み ～」</p>

第 38 回 担当者連絡会 令和 6 年 2 月 9 日開催

- 1) 令和 5 年度 相談・情報部会における PDCA サイクルについて
- 2) 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第 21 回情報提供・相談支援部会報告
- 3) がん相談支援センターPDCA 実施状況チェックリストの更新 進捗
国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん情報提供部がん相談支援推進室 小郷 祐子
- 4) 令和 5 年度「がん相談支援センターに求められる機能の自己評価」実施報告
- 5) 令和 5 年度 相談・情報部会担当者連絡会 チーム PDCA サイクル報告及び活動報告
 - ① がん相談支援センター自己評価票の実施に伴う改善の取組－自己評価票（相談支援検討）チーム
 - ・令和 4 年度は自己評価票の集計結果から評価の低かった 1 項目「【41 番】相談対応した際の記録（音声データ等）と、がん相談対応評価表などを用いて、定期的に相談対応のモニタリングを行っている」を選定し、各施設の取組を支援することを目標に活動した。令和 5 年度は前年度の活動テーマを継続し、令和 5 年度自己評価票の集計結果の分析から各施設に向けたより具体的な実践の提案を行った。
 - ・モニタリングは相談の質の向上のためにも重要であることから、がん相談の質の向上のために効果的なモニタリング、フィードバックが必要であること、そのために「がん相談対応評価表」を使用した評価の利用を促進することを提案した。
 - ② がん相談支援センター認知度向上を目的とした図書館連携－図書館連携（相談支援検討）チーム
 - ・一般市民が自由に利用できる図書館を通じて、医療・がんなどの情報やがん相談支援センターの周知を進めるために図書館連携を深めることを目標とし、都立中央図書館と協働し活動を行った。
 - ・チームと都立中央図書館が協働で講演会「病気があっても大丈夫 生活するための役立つ情報」を主催、また『人生に向き合う』ブックリスト、がん相談支援センターの紹介ポスター、がん情報の冊子等を配布・展示するイベントを同時開催。
 - 講演会「病気があっても大丈夫 生活するための役立つ情報」
 - 講演：①「がん治療中の家計のやりくり」
 - 講師：NPO 法人がんと暮らしを考える会 理事 ファイナンシャルプランナー 渡辺 一江
 - ②「身近にあります がん相談支援センター」
 - 開催日：令和 5 年 11 月 29 日(木) 会場：東京都立中央図書館 参加者：11 名
 - ・多様な年代の方が利用する図書館でのイベントを通して、健康な段階から病気になったときの相談場所を知ってもらい機会を提供することにより、病院と図書館が健康や医療情報の提供で連携することで地域に根差したコミュニティーの形成を期待。
 - ③ 東京都がん相談支援センター業務マニュアルの利用促進の取組－マニュアル（相談支援検討）チーム
 - ・令和 6 年度以降も定期的にマニュアルの内容確認ができる体制を整備すること、また令和 4 年 8 月 1 日付「がん診療連携拠点病院等の整備について」の項目と、令和 4 年 10 月に委員を対象に実施した「東京都がん相談支援センター業務マニュアル（改訂第 2 版）」に関するアンケート調査結果を踏まえて、マニュアルに必要な追加項目の検討を行った。
 - ・東京都がん相談支援センター業務マニュアル（第 3 版）改訂案を報告。3 月発行済。
 - ④ 患者・家族が安心して参加できる患者サロンを目指す取組－患者サロン推進サポート（相談支援検討）チーム
 - ・新整備指針に求められるがんサロンでのピアサポーターの活用について、「がん患者及びその家族のためのがん相談支援の在り方」をテーマに活動を行った。
 - ・委員を対象に令和 4 年度に実施した「患者サロンに関するアンケート調査」の集計結果を分析し、具体的な課題について検討を行った。
 - ・新整備指針に求められるピアサポーターの活用について、東京都保健医療局を通じて厚労省へ疑義照会した。
 - ・第 37 回担当者連絡会において、患者サロンの開催・ピアサポーターの活用・患者団体等との連携について、チームの取組発表として課題を共有した上で、認定 NPO 法人マギーズ東京 秋山センター長による講演「がんと共に歩む人々と共に ～ マギーズ東京での試み～」を踏まえた全体ディスカッションを行い、理解を深めた。
 - ⑤ AYA 世代支援ネットワーク構築の取組－AYA 世代チームネットワーク構築（相談支援検討）チーム
 - ・がん相談の実務者同士の AYA 世代患者・家族支援の情報交換、関係医療機関との連携推進、AYA 世代の特徴と東京都の地域性を知り、多様なニーズに適切に対応可能な体制・取組の充実を目標に活動を実施。
 - ・AYA 世代支援勉強会「びよびよの会」を定期的に開催。
 - 第 5 回 令和 5 年 8 月 18 日（29 名受講） 講演「AYA 世代の発達の特徴と支援」
聖心女子大学 教授（臨床心理士・公認心理師） 小林 真理子
 - 第 6 回 令和 5 年 11 月 10 日（16 名受講） テーマ「チームビルディングに向けての課題 2 施設からの取り組み」
 - 第 7 回 令和 6 年 2 月 16 日（14 名受講） テーマ「チームビルディング Part 2 ～AYA 世代支援チームがないと支援ってできないの？日々の支援をチームビルディングに活かそう！～」
 - ⑥ 東京都がん相談員研修会の開催－東京都相談員研修企画・運営チーム
 - ・新整備指針におけるがん相談の現状と課題を共有し、がん相談の充実を図ること、がん専門相談員同士の繋がりがあがることを認識し、さらなる連携を図ることを狙いとして、コミュニケーションスキルの基本を学び直し、これまでの実践を振り返り、初診から診断早期におけるがん相談の在り方を考え理解することを目的とし、チームの企画、運営により開催した。

第12回東京都がん相談員研修会（クローバー研修） ※都道府県主催がん専門相談員向け研修（Ⅲ群）
令和5年12月2日（32名受講）

テーマ「初診から診断早期におけるがん相談員のかかわり方 ～コミュニケーションスキルを見直してみよう～」

⑦「相談対応の質保証（QA）を学ぶ」研修の開催－QA研修企画・運営チーム

・がん相談支援センターにおけるPDCAサイクル確保の一環として、相談対応の質の保証と向上のための観点を学び、また、これらの学びを施設で活用し、施設の相談対応の質向上に還元できる人材の育成を目的として、チームの企画、運営により開催した。

QAを学ぶ－相談対応の質保証－研修会 ※都道府県主催がん専門相談員向け研修（Ⅲ群研修）

開催日：令和6年1月13日（土） 会場：東京都立駒込病院 参加者：27名

講師：東京医科大学八王子医療センター 品田 雄市

⑧4都県合同 地域相談支援フォーラムの開催－地域相談支援フォーラム実行委員会

・令和5年度は千葉県が主催。4都県合同で組織された地域相談支援フォーラム実行委員会を主体に企画、運営を行い開催した。

2023年度 地域相談支援フォーラム in 東京・神奈川・埼玉・千葉 ※都道府県主催がん専門相談員向け研修（Ⅲ群研修）

開催日：令和5年11月11日（土）WEB開催 参加者：73名

テーマ：「がん体験者（サバイバー）を疑似体験するところから始める両立支援」

講師：一般社団法人CSRプロジェクト代表理事 キャンサーソリューションズ株式会社代表

桜井 なおみ

6) 「東京都がん相談支援センター業務マニュアル」の改訂について

7) 令和6年度 相談・情報部会担当者連絡会チーム設置及び活動について

8) 「東京都におけるがん患者の治療と仕事の両立支援の状況」 東京都保健医療局 医療政策部医療政策課

9) 第38回 相談・情報部会担当者連絡会 就労支援に係る事前アンケート調査について

10) 講演「両立支援を実践するための課題とその対応」

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授 立石 清一郎

11) 令和6年度 相談・情報メーリングリスト「東京みつばち」への登録について